

2 令和4年観光入込客等調査結果の概要

(1) 全体概況

令和4年は、1月27日から3月21日の間、京都府にまん延防止等重点措置が適用されたが、それ以外の期間においては、コロナ禍において中止されていた行催事・イベントが3年ぶりに再開された。

また、3月22日から旅行割引等による観光需要喚起策が京都府民を対象に再開され、6月1日から隣接等府県在住者、10月11日から全国の旅行者と順次、対象者が拡大された。このほか、海外旅行を控える動きがあったことも、京都府を含めた国内旅行を後押ししたものと推測される。

これらの結果、令和4年の京都市を除く府域の観光入込客数は令和3年比で134%、観光消費額は令和3年比で138%となった。

- | |
|---|
| <p>■ 令和4年の京都府観光入込客数は6,668万人（令和元年比90%※¹）
京都市を除く府域では2,307万人（対前年比134%、令和元年比111%）</p> <p>■ 令和4年の京都市を除く府域の観光消費額は988億円
（対前年比138%、令和元年比109%※²）</p> |
|---|

- ※1 令和2年、3年については、京都市の観光入込客数の数値がないため、京都府全体の観光入込客数は数値なし
- ※2 令和2年～4年については、京都市の観光消費額の数値がないため、京都府全体の観光消費額は数値なし

(2) もうひとつの京都エリア別増減要因（推定）

<竹の里・乙訓エリア>

（向日市、長岡京市、大山崎町）

複数の行催事・イベントが3年ぶりに開催されたことや、工場見学が再開されたこと等により、竹の里・乙訓エリアの観光入込客数は対前年比134%、観光消費額は対前年比120%と増加した。

<お茶の京都エリア>

（宇治市、城陽市、久御山町、八幡市、京田辺市、井手町、宇治田原町、木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村）

コロナ禍におけるキャンプ等のアウトドアブームにより、スポーツ・レクリエーション施設等で観光入込客数の増加が多くみられ、お茶の京都エリアの観光入込客数は対前年比134%、観光消費額は158%と増加した。

<森の京都エリア>

（亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市、福知山市）

密を避けるためのマイカー利用による旅行が多く、道の駅への入込客が増加したこと等により、森の京都エリアの観光入込客数は対前年比123%、観光消費額は対前年比155%と増加した。

<海の京都エリア>

（綾部市、福知山市、舞鶴市、宮津市、与謝野町、伊根町、京丹後市）

3年ぶりに開場した海水浴場があったこと、自治体独自の宿泊割引キャンペーンがあったこと等により、海の京都エリアの観光入込客数は対前年比157%、観光消費額は対前年比117%と増加した。